

## 学部学科適性試験

実施学部	文学部
実施学科	哲学科
試験時間	75分
試験概要	哲学への関心および読解力・思考力・表現力を問う試験

(この問題冊子は7ページ，3問である。)

## 受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで，問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に，試験監督者から指示があったら，解答用紙1ページ目の左上に氏名と受験番号を記入し，所定のマーク欄をぬりつぶすこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら，この問題冊子が，上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は，HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。
5. マーク式の解答は，解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで，そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき，マーク欄からはみ出したり，白い部分を残したり，文字や番号，○や×をつけたりしてはならない。また，マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 記述式の解答は，各解答欄にていねいに記入すること。数字，ローマ字については，1マスに2字とする。
8. 訂正する場合は，消しゴムでていねいに消したうえで，消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり，破ったりしてはならない。
10. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

問題Ⅲ 以下の文章を読んで、1～2の問いに答えよ。文字数には句読点を含める。

(出題にあたって表記を一部改めた。)

これは、突然ころがり込んだ時価二億円の山林をどう使うかについて、各時期の自分が集まって会議をするというマンガである。

主人公は学生である。九年後の自分はすぐに山林を売って自分にあずける、と言う。九年後の自分にあずけるとは、つまり、九年間は絶対に解約できない定期預金を組むようなものだろう。

するとそこに二十三年後の自分が出てきて、二十三年後には<sup>㊦</sup>バクハツ的なインフレーションが進行して、二億円など紙くず<sup>㊧</sup>ドウゼンになるので、二十三年間山林を売ってはいけない、と言う。

すると、そこに三十三年後の自分が出てきて、たったいま、いっさいの土地が国有化された、と言う。「いまのわしは一文なしじゃ、こうなったのもおまえらのせいじゃぞ」と他の二人につめよる。

もちろん、「おまえら」とは若いころの自分のことである。

さて問題は、どの時期の自分の利益や幸福を最も重視すべきか、ということになる。ここで、このマンガの主人公である学生の自分は、多数決で決めることを提案している。この作品では、たまたまそこに登場している四人だけで決めるのは問題なので、より若いと



藤子・F・不二雄「自分会議」(藤子・F・不二雄異色短編集1、『ミノタウロスの皿』小学館文庫、1995年、55頁)

きの自分の意見も聞こうということになって、ストーリーは展開するのだが、どうせなら、せめて国会規模の自分会議を開いて、自分の人生のコースを決めていったらどうだろう。

ここで私が提起したい問題はこうである。たいていの人は自分の利益や幸福を最も重視する、という意味では利己主義者である。私もそうである。このとき、私はこの

国会規模の自分会議の決定をもとにして、人生コースを決めるべきであろうか。そのような決定に従うことが真に利己的な生き方であろうか。そうではあるまい。

このとき、過去や未来の自分は一種の他人であるという、この章のこれまでの考察から得られた結論が効いてくるのではないだろうか。私はなぜ、九年後や、二十三年後や、三十三年後の自分のために、いまの自分の利益や幸福を犠牲にしなければならないのだろうか。それは一種の利他主義にならないだろうか。長期的な利己的配慮は、それを要求する「自分」たちが他者としていまここに実在してしまえば、もうすでに利他主義であり、一種の道徳に転化するのである。真の利己主義は利今主義を含むはずなのである。「己」は「今」を含むからである。

しかし、カンベキに利今主義的な利己主義者は少ない。たいていの人は、多少とも将来の自分のためにいまの自分を犠牲にする。なぜそうなのか、理由はわからない。だが、もしそうでなかったとしたら、つまりすべての人が利今主義的な利己主義者だったとしたら、道徳や法律は機能しなくなるにちがいない。

(永井均「マンガは哲学する」第4章 時間の謎 5 自分会議の決定を尊重すべきか  
——藤子・F・不二雄「自分会議」岩波現代文庫、2009、p.134-137.)

問1 下線部㉑、㉒、㉓のカタカナを漢字に直せ。

問2 文章に関連する次の3つのテーマのなかから1つを選択し、解答欄の最初の〔 〕内に自分の選択したテーマの記号を明記したうえで、350字以上、450字以内、横書きで、その選択したテーマについて自由に論述せよ。

- a. 過去や未来の自分は一種の他人であるということについて
- b. 利今主義と倫理について
- c. マンガという表現形式が得意とする時間表現と、苦手とする時間表現について(たとえば、小説との比較、舞台演劇との比較、などの観点から)